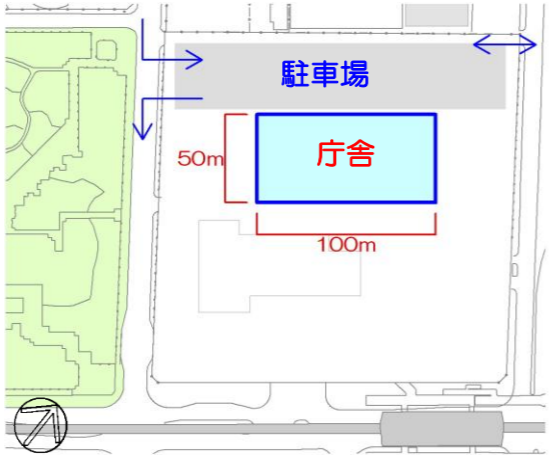
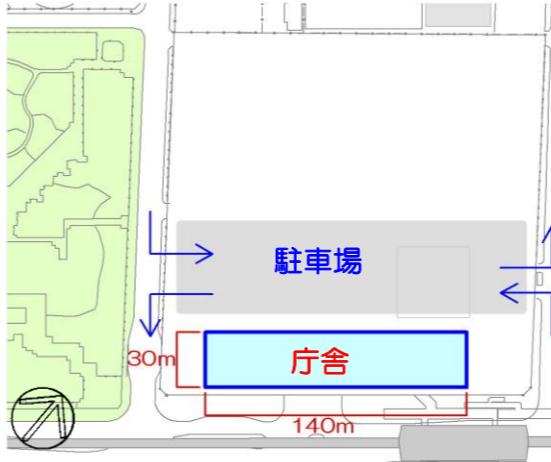
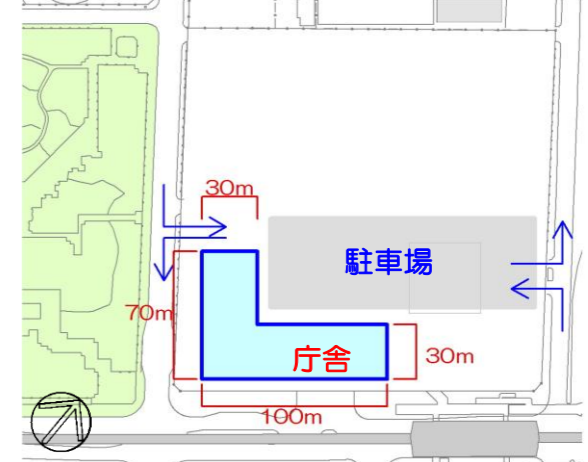
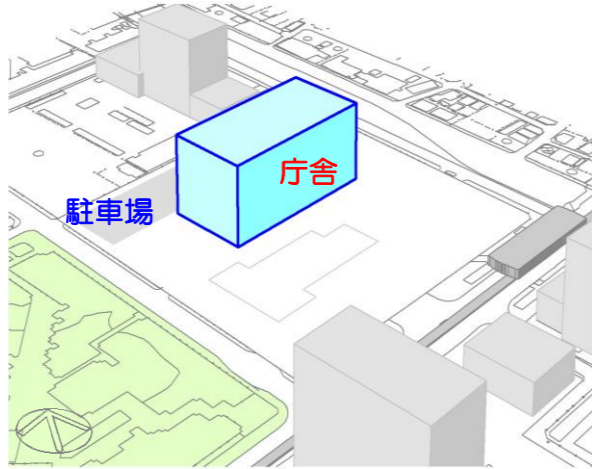
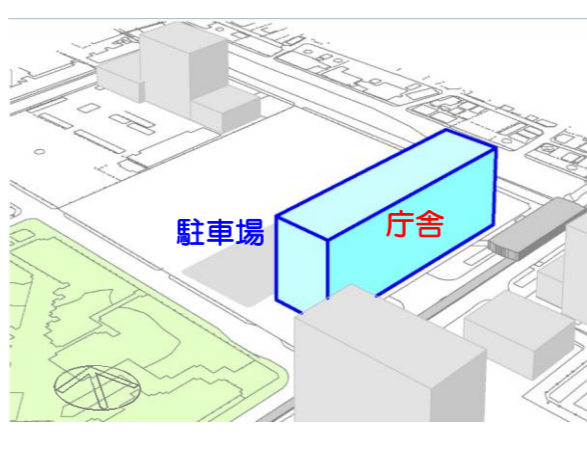
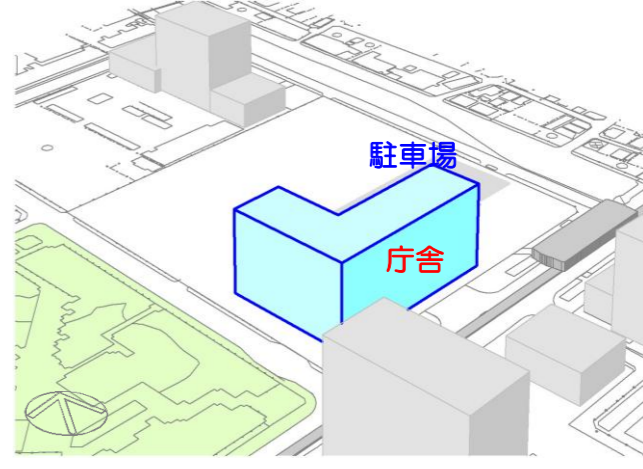


| モデルプラン | | Aエリア | Bエリア | B・Cエリア |
|--------------|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| | | 千葉銀行側 | プロムナード側 | みなと公園側 |
| 配置計画 | |  |  |  |
| 建築計画 | |  |  |  |
| 敷地利用 | 敷地の有効利用に関する評価 | | | |
| | 建物配置の自由度 | 2棟案/3棟案等、自由に計画が可能である。 | 1棟案の場合、建物が横に長くなる(100m超)、移動距離が長くなる。 2棟案/3棟案は、建物の奥行に制約があるが、採用可能。 | 1棟案の場合、建物が横に長くなる(100m超)、移動距離が長くなる。 2棟案/3棟案は、建物の奥行に制約があるが、採用可能。 |
| | 屋外スペースの確保 | まとまった面積を整形で確保可能。 | まとまった面積を整形で確保可能。 | まとまった面積を整形で確保可能。 |
| | モノレール駅からのアクセス | モノレール駅からのアクセスが遠い。 | モノレール駅からのアクセスが近い。 | モノレール駅からのアクセスが近い。 |
| | 国道からのアクセス | 国道側は道路改良事業により、車の出入りに制約がある。 | 国道側の出入りに制約がなく、駐車場の利便性が高い。 | 国道側の出入りに制約がなく、駐車場の利便性が高い。 |
| みなと公園との関連性 | みなと公園との連携が可能である。 | みなと公園との連携が可能である。 | みなと公園との連携の自由度が高い。 | |
| 将来の余剰地活用の可能性 | モノレール駅側に、余剰地スペースを確保可能。 余剰地がモノレール駅への連絡通路により分断。 | 千葉銀行側に、整形な余剰地スペースを確保可能。 | 千葉銀行側に、整形な余剰地スペースを確保可能。 Bエリアと比較して、国道側に余剰地を確保可能。 | |
| 建物利用 | 建物形状による影響 | | | |
| | 維持管理の容易性 | 1棟の場合、効率的な維持管理が可能である。 | 複数棟の場合、共用スペースが増加し、清掃や警備範囲が広がるなど、効率的な維持管理を行にくい場合がある。 | 複数棟の場合、共用スペースが増加し、清掃や警備範囲が広がるなど、効率的な維持管理を行にくい場合がある。 |
| | 組織配置の効率性 | 基準階面積が広く、フロア毎にまとまった組織配置が可能となり、来庁者や職員の動線が短い。 | 1棟案は建物が横に長く、動線が長くなる。 (複数棟の場合は影響はない) | 1棟案は建物が横に長くなり、動線が長くなる。 (複数棟の場合は影響はない) |
| 執務室利用の効率性 | 1棟の場合、効率的な配置が可能である。 | 複数棟の場合、廊下・階段・エレベーター等の共用スペースが増加する。 | 複数棟の場合、廊下・階段・エレベーター等の共用スペースが増加する。 | |
| 建物性能(建物内の評価) | 将来の変化への柔軟性の確保 | エリアの違いによる影響はない。 | エリアの違いによる影響はない。 | エリアの違いによる影響はない。 |
| | 通常業務の遂行性の確保 | エリアの違いによる影響はない。 | エリアの違いによる影響はない。 | エリアの違いによる影響はない。 |
| | 非常時の業務継続性の確保 | エリアの違いによる影響はない。 | エリアの違いによる影響はない。 | エリアの違いによる影響はない。 |